

JICA 教師研修 学習指導案・授業実践報告書

【実践者】

氏名	土井真智子	学校名	千葉大学教育学部附属小学校
担当教科等	全教科	対象学年 (人数)	4～6年4組 (帰国児童22名)
実践年月日もしくは期間 (時数)	2022年9月 ～ 11月 (3時間)		

【実践概要】

1. 実践する教科・領域：道徳		
2. 単元(活動)名：地球の未来を考えよう		
3. 授業テーマ (タイトル) と単元目標 授業テーマ：あなたならどうする 単元目標：正解のない問いに対して自分の意見を持ち、話し合いを通して多様な価値観の中で物事を多面的・多角的に考え、自分はどうしていきたいかを自ら考え続けること。 関連する学習指導要領上の目標：自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。		
4. 単元の評価 規準	①知識及び技能	道徳的諸価値についての理解を深める。
	②思考力、判断力、表現力等	自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深めたり、他者に伝えたりする。
	③学びに向かう力、人間性等	社会的な差別や不公平さなどの問題に考えを巡らせ、自分はどうしていきたいかを考えることができる。
5. 単元設定の理由・単元の意義 (児童/生徒観、教材観、指導観)	【単元設定の理由】 JICA 教員のための SDGs 研修で、「正解のない問いと共に生きる時代」であることを学んだ。国内視察研修で現場を見学させていただきながら、今、私たちの前にある問題は、いずれも環境、社会、経済が相互に影響し合う複雑な問題となっていることを実感した。佐藤 (2020) は、「SDGs (Sustainable Development Goals 持続可能な開発目標) 時代、VUCA (Volatility 変動性、Uncertainty 不確実性、Complexity 複雑さ、Ambiguity 曖昧さ) 世界では、常に変化しつづけることを前提に、情報や知識の捉え方が人によって違っていること、さらに情報や知識は固定的ではなく正しさが変化し続けていることを受け入れることが大切」としている。また、「他者とのコミュニケーションが、問題の理解から始まり、自分にも他の人にも望ましい未来を描くのに、その実現の過程においても本質的に大切」としている。そこで、現在進行形の問題を扱い、友達と話し合うことで多角的・多面的に物事を捉え、いかに生きるべきかを考え続ける道徳授業ができないかと考え、本単元を設定した。 【単元の意義】 第一次では、道徳の主な内容項目を C-(17)伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度とし、関連する内容項目を D-(19)生命の尊さ、D-(20)自然愛護とする。二つの概念が互いに矛盾、対立しているという二項対立の物事を取り扱い、物事を多面的・多角	

的に考えることができるようにすることに本単元の意義があると考え。

第二次では、主な内容項目を C-(13)公正、公平、社会正義とし、関連する内容項目を C-(18)国際理解、国際親善、B-(11)相互理解、寛容とする。自分自身の体験やそれに伴う感じ方や考え方などを確かに想起することができ、自己の生き方についての考えを深めることに本単元の意義があると考え。

【児童／生徒観】

本学級の児童は、日本国籍を有し、海外の現地校もしくは海外のインターナショナルスクールに2年間以上在籍していた児童である。4年生10名、5年生6名、6年生6名であり、国語、算数、理科、社会の主要4教科は学年別の少人数で学び、主要4教科以外の学習は、4～6年生の合計22名と一緒に学んでいる。小学校低学年の時期に日本語で授業を受けていないため、日本語を得意としない児童も在籍している。滞在国や滞在年数がそれぞれであり、自分の意見をはっきりと表現することが得意な児童もいれば、自分の意見を人前で表現することが苦手な児童もいる。言語習得状況もさまざまであり、英語の方が得意な児童もいれば、日本語の方が得意な児童もいる。話すことが得意で書くことが苦手な児童もいれば、話すことが苦手で書くことが得意な児童もいる。学級内の児童の経歴が多様なので、多様性に関しては寛容さがみられる。昨年度はSDGsに関して外国語の授業の中で扱ってきたので、SDGsに関して関心の高い児童が多い。これまでの児童の経験や学習歴を生かして、学びに向かうようにしたい。

【指導観】

第一次では、防潮堤やメガソーラーの設置について「賛成」か「反対」かを考える活動をする。「賛成」「反対」の2択ではなく、スケールを用いて「どちらでもない」を0とし、賛成反対のそれぞれ3段階のスケールをワークシートと黒板に用い、黒板にネームプレートを貼ることで、自分の意見や友達の意見がどのくらい賛成なのか反対なのか、どちらでもないのかを視覚的にわかりやすくする。賛成意見も反対意見もどちらの意見も聞いて再度考え直すことで意見が変わった時はネームプレートを移動させ、考えが変化したことを視覚化し学級全体で受け入れやすくする。さらに、最終的な自分の意見に関係するSDGs17の目標シールをワークシートに貼る作業をすることで様々な地球規模の問題が関わっていることを視覚的にわかりやすくしたい。

第二次では、娘さんが知らない外国人に声をかけられて「怖い」と思ったことがきっかけで、クルド文化教室主宰になった中島さんの実話を教材とし、言葉の壁や心の壁があることに気付かせたい。本学級の児童は国境を越えての生活経験があるため、言葉の壁や文化の壁は感じたことがあるだろうと考える。自分たちも不便を感じたことがあることを想起させ、さらに言葉や文化の壁以外に心の壁はないかについて考えることで自己を見つめ、物事を多角的・多面的に考え、自己の生き方についての考えを深めていくことができるようにしたい。さらに、日本人同士の中にも心の壁がないかを考える。そして、そのような差別や偏見、傍観的立場がいじめなどの問題につながることを理解し、今後自分はどうしていきたいのかを考える。自分とは異なる立場の人を思いやることの大切さに気付かせたい。

6. 単元計画（全3時間）					
次	時	小単元名	学習のねらい	学習活動	資料など
1次	1	防潮堤の設置に賛成？ 反対？	○千葉県に防潮堤設置の賛否を考える活動を通して、「生命の尊さ」と「自然愛護」について多面的多角的に考える。 ◎賛成意見にも反対意見にも共通する思いや願いを考えることを通して、人々の郷土を大切にしたいという思いや願いに気づき、自分の住んでいる郷土を大切にしようとする態度を育む。	①海のイメージを話し合う。 ②宮城県仙台市の防潮堤の写真や、岩手県釜石市の防潮堤の写真を見て、なぜ設置されたかを考える。 ③動画を視聴する。 ④千葉県に防潮堤設置は賛成か反対かを考え、黒板にネームプレートを貼る。理由をワークシートに記入する。 ⑤なぜそう考えたのかを発表し合い、話し合う。 ⑥話し合いを通して最終的に賛成か反対かを考え、理由をワークシートに書く。考えが変わった場合は、黒板のネームプレートを移動させる。 ⑦自分の意見に関するSDGs17の目標シールをワークシートに貼る。 ⑧Teamsにふりかえりを書く。	①千葉県の海の写真 ②宮城県仙台市の防潮堤の写真、岩手県釜石市の防潮堤の写真 ③【防潮堤】高さ9.7m "海が見えなくなった町"に新たな魅力を！ 宮城 NNN セレクション - YouTube ④ワークシート、ネームプレート ⑦アフリカと生物多様性を守るバナナパーパー (SDGs シール) ⑧タブレット PC
	2	メガソーラーの設置に賛成？ 反対？	○耕野地区のメガソーラーの建設について賛否を考える活動を通して、「生命の尊さ」と「自然愛護」について多面的多角的に考える。 ◎賛成意見にも反対意見にも共通する思いや願いを考えることを通して、人々の郷土を大切にしたいという思いや願いに気づき、自分の住んでいる郷土を大切にしようとする態度を育む。	①本校にソーラーパネルの設置は賛成か反対かを考え、黒板にネームプレートを貼る。 ②丸森町にメガソーラーを建設する件についてのニュース動画を視聴する。 ③メガソーラーの建設について賛成か反対かについて考え、黒板のスケールに名前を貼り、理由をワークシートに記入する。 ④インターネットでメガソーラーについて調べる。 ⑤友達の意見を聞き、話し合いを通して最終的に賛成か反対か、その他の案はあるのか、自分の意見をまとめる。 ⑥賛成の人にも反対の人にも共通している思いや願いは何かについて考える。 ⑦Teamsにふりかえりを書く。	①本校のソーラーパネルの写真 ②再生可能エネルギー 環境への負荷が小さい小規模な発電が注目集める khb 東日本放送 (khb-tv.co.jp) ③ワークシート、ネームプレート ④タブレット PC ⑥アフリカと生物多様性を守るバナナパーパー (SDGs シール)

2次	3 本時	言葉の壁 心の壁を 越えて	○言葉の壁や心の壁に 気づき、自分はどうして いきたいかを考えるこ とができる。	①海外生活や海外の学校生活、 日本に来てから感じた困り 感について話し合う。 ②教材をもとに心の壁につい て考える。 ③自分たちの身近な日常生 活の中に心の壁がないか振り 返る。 ④班で話し合い、議論する。 ⑤意見を発表し合い、ふりかえ りを行う。 ⑥Teams にふりかえりを書く。	①事前に調査したア ンケート結果 ②自作教材「コンビニ での出来事」 PowerPoint 資料 黒板掲示用イラス ト 黒板掲示用写真 ワークシート ⑤アフリカと生物多 様性を守るバナナ ペーパー (SDGs シー ル) ⑥タブレット PC
----	---------	---------------------	---	---	---

7. 本時の展開 (3時間目)

本時のねらい：言葉の壁や心の壁に気づき、自分はどうしていきたいかを考えることができる。

過程・ 時間	教員の働きかけ・発問および学習活動 ・指導形態	指導上の留意点 (支援)	資料 (教材)
導入 (10分)	①事前に調査した国境を越えての移動に関する困り感についてのアンケート結果をもとに、海外生活や海外の学校生活、日本に来てから感じた困り感について話し合う。 ・自分の経験を思い返し、自分だけではなく困った経験をしている人が他にもいることを理解する。	○学年別、使用しやすい言語別に意図的なグループ編成をする。	①事前に調査したアンケート結果
展開① (15分)	② 自作教材「コンビニでの出来事」の PowerPoint 資料を見ながら、外国人に声をかけられて「怖い」という娘さんが今は「怖くない」に変化したのはなぜかを考え、ワークシートに自分の考えを記入し、班で話し合う。 ・「言葉の壁」の他に「心の壁」があることに気付く	○話の流れがわかりやすくなるように、PowerPoint 資料を提示しながら、黒板にイラストも提示する。	②自作教材「コンビニでの出来事」 PowerPoint 資料 黒板掲示用イラスト 黒板掲示用写真 ワークシート
展開② (15分)	③ 教材をもとに心の壁について考える。 心の壁を低くするにはどうしたらよいだろう ・自分たちの身近な日常生活の中に心の壁がないか振り返る。 ・自分の経験と重ねながら考える。 ・班で考え議論する。 ・班での議論を通して心の壁に対してどう向き合い、今後どうしていきたいのかを考えを深める。	○児童の意見を黒板にまとめる。	
まとめ (5分)	④ 本時の活動を振り返り、何を学んだのか、それぞれの考えを自分の言葉でまとめるようにする。 だれもが過ごしやすくなるために自分にできることは何だろう		アフリカと生物多様性を守るバナナペーパー (SDGs シール) タブレット PC

8. 評価規準に基づく本時の評価方法 言葉の壁や心の壁に気付き、自分はどうしていきたいかを考えることができたか。(発言、ワークシート、Teams への記入)
9. 学習方法及び外部との連携 YouTube に投稿されているニュース動画の利用
10. 学校内外で国際理解教育・授業実践を広める取組 ・校内授業研究での本時展開 ・ちば国際コンベンションビューローと JICA 東京・千葉デスク共催オンラインイベント「国際理解セミナー」での実践報告

【自己評価】

11. 苦労した点	<p>これまで外国人に全く興味の無かった中島さんがクルド文化教室主宰になるまでの経緯や娘さんの変化に興味深く、道徳教材になると思ったが、日本に住んでいるクルド人について小学生にどう説明したらわかりやすくなるかが難しかった。</p> <p>児童の経験から、「言葉の壁」には強く共感する姿勢や発言が見られたが、児童から「心の壁」という言葉が出てこなかった。児童がこれまで経験的に「心の壁」を感じていなかったのか、日本語の語彙数が少ないために出てこなかったのか、「言葉の壁」の印象が強かったのか、様々な要因が考えられる。</p>
12. 改善点	<p>・ PowerPoint 資料を提示しながら、黒板にイラストも提示して自作教材の説明をしたので、内容把握に時間がかかってしまった。児童が考える時間の確保をしたい。</p>
13. 成果が出た点	<p>アメリカから編入した児童が図書室で寝そべて本を読んでいたことを注意して怒っていた韓国から編入した児童に、「アメリカの図書館は寝そべて本を読むのが普通なのかもしれないよ」と声をかけたところ、しばらく考えて、その児童に注意するのをやめたとき、違う文化で育った仲間を非難するのではなく、受け入れようとする姿が見られた。</p>
14. 学びの軌跡 (児童生徒の反応、感想文、作文、ノートなど)	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>中島さんの壁、華字さんがコンビニの前で声をかけた外国人を「怖い」と思っていたのに、今は「怖くない」と思っているのはなぜでしょう。 中島さん、クルド人の人たちが仲良くなり、クルド人にはある伝統的な食べ物を知ったから。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>外国人のことを知ることで、わるいことをしようとしているわけでもないし、かわいい人でもないということを知ることができたから。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>心のかべをのりこえるためには よかれのことであり、かいいし、全員おあるい人ではないということを考える。</p>  </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>心のかべをのりこえるためには 相手のことをよく知ってうけいれることで心のかべをのりこえることができると思います。</p>    </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>これから自分は、たれが知らない人に声をかけられたりしたら、あいさつやへんしをして、相手のことを考える。</p>    </div> <div style="width: 50%; border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>この前は、他の人がことをよく知ることができるようになりたいです。 あと、その人がどんな人かを知ったり、しじょうがわかってから決めたいです。</p>   </div> </div>

中嶋さんの姿、藤子さんがコンビニの前で声をかけてきた外国人を「怖い」と思っていたのに、今は「怖くない」と思っているのはなぜでしょう。
 当初は外国人についてあまり知らないでいきせんでしたが、中嶋さんがアルバイトと仲良くなったりと、その道についてもっと知ることができています。



心の壁をのりこえるためには、そのことについてよく理解し、よく自分と関わりのある人から話を聞いているか、お話を聞いてみるのが大切です。



これから自分は人が言ったこと、したことやそのまじき受け入れるのではなく、よく理解しお話を聞いてみる方がいいなと思います。



中嶋さんの姿、藤子さんがコンビニの前で声をかけてきた外国人を「怖い」と思っていたのに、今は「怖くない」と思っているのはなぜでしょう。
 中嶋さんが外国人と一緒に料理をしているから、藤子さんはお母さんが大の外国人が好きで、お母さんと同じように外国人の人の気持がわかるから。



心の壁をのりこえるためには、相手の気持ちを考える、話を聞く。



これから自分は、外国人と話を聞いてみることをしよう。



Teams へのふりかえりの記入

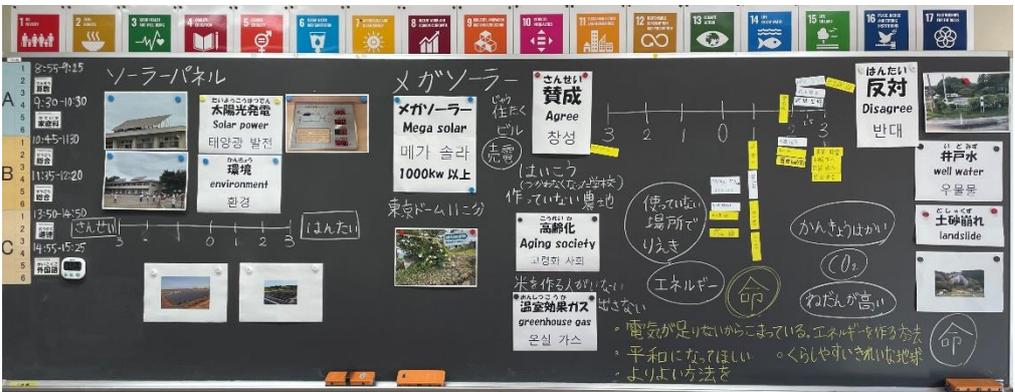
- ・急に外国人におかえりと言われると僕でもちょっとぞっとします。なぜなら顔の怖い人いきなり言われたらちょっと怖いです。ですけど向こうが友だちになりたいということや困ってるということはわかるのでもし言われたら「ただいま」と僕は言います。
- ・私が夜遅くに声をかけられたら怖くなると思います。でも、きょうこさんの家族の人がそのお帰りといった人のこと、その国を調べて事情などが分かったら私も怖くなくなると思います。心の壁を乗り越えるためには何をすればいいのかを考えたときには、私は一番その人と向き合うことが大事だと思いました。
- ・ After reading the story I understood what she might have felt. I also have once experienced a stranger saying hi for no reason at all. I thought that he might be dangerous so I also was scared. But I found out that he was a stranger that found out that I spoke English. After I realized that I became not scared.
- ・ 私もきょうこさんのように知らない外国人に話しかけられたら怖がっていたかもしれませんが、日本とブラジルでは言葉や文化の壁がありますが、同じようなところもあったりするので、面白いと思いました。これからいろいろな壁を乗り越えていきたいです。
- ・ Today we talked about how we have a wall that separates our traditions in our culture. In Japan we are really 人見知り and don't talk to strangers but in America we would say Hi and have a great day or something like that. I have experienced this a lot. Now because I'm living in Japan I, got used to the Japanese culture and when a 外国人 smiled at me I was kind of scared and especially because nobody was around me that I knew. I get how this little girl felt in our lesson.
- ・ 私は特に人と人の間に壁があるとは思いませんが、距離を感じる人もいるんだなと思いました。これからも今まで通り、みんなと平等に接したいと思います。

15. 授業者による
自由記述

正解のない問いを子どもたちと一緒に考えていくのは私自身の学びになった。また、仲間と共に話し合ったり議論したりする中でより良い考えが生まれるということが子どもたちも実感できたと思う。これからも子どもたちと共に学び続けていこうと思う。



防潮堤設置に賛成？反対？板書



メガソーラー設置に賛成？反対？板書



言葉の壁、心の壁を越えて 板書

使用した教科書・単元名：

参考資料：文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成 29 年告示）解説 特別の教科 道徳編」（文部科学省）
佐藤真久・広石拓司（2020）「SDGs 人材からソーシャル・プロジェクトの担い手へ」
佐藤幸司（2022）「とっておきの『ニュース de 道徳』」
諸富祥彦・土田雄一（2020）「考えるツール&議論するツールでつくる小学校道徳の新授業プラン」
NHK for School ココロ部！「ぼくらの村の未来」
諸富祥彦・永田繁雄・土田雄一・山田誠・林泰成（2008）「NHK 道徳ドキュメントモデル授業」（図書文化）
NHK DVD 教材（2007）「道徳ドキュメント第 3 期 使いやすさを広めたい」

※ 過去の本研修参加教員による実践事例と使用教材、ワークシートなどを
JICA ホームページに掲載しています。是非ご覧ください！

<https://www.jica.go.jp/tokyo/enterprise/kaihatsu/kaigaikenshu/index.html>